

# 要 望 書

老朽化した排水機場の更新と能力増強並びに  
維持管理経費への支援について



【区画形状が整った八代平野の農地】

令和7年11月  
熊本県八代市

八代平野は、一級河川の球磨川や二級河川の氷川などから流下した土砂が堆積してできた扇状地や三角洲等の沖積平野と、西暦1600年頃から始まる干拓事業により造成された低平地で形成される県内有数の優良な農業地帯であります。

海岸沿いの地域では、排水機場を含む農業用水利施設の整備が図られ、これまでの水稻やい草を中心とした営農形態から、トマトやメロンなどの施設園芸や露地野菜への転換が進み、生産性の高い複合的な農業が営まれています。

しかしながら、近年の不安定な国際情勢等による資材、燃油高騰や老朽化の進む排水機場等の維持管理費の負担増等により、水利施設の安定的な維持管理が年々困難になっており、頻発増加傾向にある豪雨等による農地、農作物への湛水被害への対策も危惧されています。

本市においては、国営や県営事業により老朽化した排水機場の更新が計画に沿って進められているところではありますが、令和7年8月大雨において、排水機場の能力を超える降雨が続き、本市農業の主要作物である施設園芸作物や露地野菜等に多大な被害が発生しましたことから、今後計画されている排水機場の更新につきましても、早期の事業の進捗と排水能力の増強が図られますよう、必要な当初予算の確保を強く要望します。

また、水利施設管理強化事業（一般型）の対象とならない市が管理する排水機場の維持管理経費の支援とともに、近年老朽化の著しい一部の排水機場において、定期点検や突発的な修繕に際し、必要な交換部品が製造中止されている等、危機的な状況に陥る場面が頻発しておりますことから、主要部品の安定調達に関する支援制度の創設についても併せて強く要望します。

令和7年11月

八代市長 小野 泰輔